国際日本研究コース

講義コード	授　業　科　目	単位	授 業 科 目 の 内 容
40JST001**	日本研究基礎論A	1	各教員の個々の分野における研究の最新の潮流や先端的テーマ、および理論・方法等を把握するとともに、日本研究の多角的な切り口に触れることで、日本研究の基礎となる理論的・方法的枠組みを明確化し、日本研究というカテゴリーに属する多様な学問内容についての知見や共通了解を得る。 そのことを通じて、日本研究の枠組み自体を相対化し新たな日本研究の創出につながる方法論を構築する能力を修得することを目的とする。 以上の教育効果を通じて、日本研究の国際化を担える研究者を育成することを最終的な目標とする。
40JST002**	日本研究基礎論B	1	各教員の個々の分野における研究の最新の潮流や先端的テーマ、および理論・方法等を把握するとともに、日本研究の多角的な切り口に触れることで、日本研究の基礎となる理論的・方法的枠組みを明確化し、日本研究というカテゴリーに属する多様な学問内容についての知見や共通了解を得る。 そのことを通じて、日本研究の枠組み自体を相対化し新たな日本研究の創出につながる方法論を構築する能力を修得することを目的とする。 以上の教育効果を通じて、日本研究の国際化を担える研究者を育成することを最終的な目標とする。
40JST003**	シンポジウム等運営実習A	1	・本コースの基盤機関である国際日本文化研究センターが企画するシンポジウム、セミナー、国際研究集会、共同研究会等の計画運営に関わり、以下のような観点からシンポジウム等を開催する際の運営方法を体験実習し、必要な経験を身につける。 1. 演習「シンポジウム等研究会を準備するということ」 2. 演習「シンポジウム等研究会での報告の実践」 3. 演習「シンポジウム等研究会での議論に参加するということ」 ・シンポジウム等の運営に必要なテーマの企画、プログラムの作成、外国語による連絡を含む報告者等との交渉、通訳の確保など多くのノウハウを習得する。 ・その結果、シンポジウム等を準備する現場でそれらの作業に関わることで、将来研究者としてシンポジウム等を開催できる経験を蓄積することを目的とする。 ・以上の教育効果を通じて、国際的かつ学際的なコミュニケーション能力を備えた研究者を育成することを最終的な目標とする。

国際日本研究コース

講義コード	授　業　科　目	単位	授 業 科 目 の 内 容
40JST004**	シンポジウム等運営実習B	1	・本コースの基盤機関である国際日本文化研究センターが企画するシンポジウム、セミナー、国際研究集会、共同研究会等の計画運営に関わり、以下のような観点からシンポジウム等を開催する際の運営方法を体験実習し、必要な経験を身につける。 1．演習「シンポジウム等研究会でのネットワーク形成」 2．演習「シンポジウム等研究会の総括の仕方」 3．演習「シンポジウム等研究会の成果の個人研究への吸収」 ・シンポジウム等の運営に必要なテーマの企画、プログラムの作成、外国語による連絡を含む報告者等との交渉、通訳の確保など多くのノウハウを習得する。 ・その結果、シンポジウム等を準備する現場でそれらの作業に関わることで、将来研究者としてシンポジウム等を開催できる経験を蓄積することを目的とする。 ・以上の教育効果を通じて、国際的かつ学際的なコミュニケーション能力を備えた研究者を育成することを最終的な目標とする。
80JST001**	学際研究論ⅢA	1	学際的な論文作成の着手のために、受講者は各自固有の学術背景を活かしつつ指導教員との協働によって設定した博士学位研究課題について、当該課題の国際日本研究領域における学術背景の調査に着手し、基礎となる関連理論を含め、その成果に基づく口頭発表及び質疑応答の練習を行い、博士論文執筆を具体的に促す。
80JST002**	学際研究論ⅢB	1	学際的な論文作成の着手のために、受講者は研究課題をさらに拡張あるいは深掘りし、国際日本研究関連学術領域の国際的水準に照らして十分に評価されるレベルに設定した博士学位研究課題について、受講者が自主的に研究計画を作成するとともに各自の研究を進め、その成果に基づく口頭発表及び質疑応答の練習を行い、博士論文執筆を具体的に促す。
80JST003**	学際研究論ⅣA	1	学際的な論文作成の推進のために、受講者は自ら設定した研究課題を問題関心に沿った且つ対象に適宜の方法論に基づく現地調査や文献研究を通じて集中的に遂行し、その成果に基づく口頭発表及び質疑応答の練習を行い、博士論文執筆を具体的に促すとともに、多様な専門分野に属する教員の質疑に答えることで、学際的な視角を養うことを目指す。また博士論文執筆のために進めている研究を口頭で発表することによって、博士論文作成に向けての課題を整理し、必要に応じて、課題の再設定や研究方向の見直しを行う。研究計画通りに進捗が見られない場合には，その問題点を理論的に整理し、問題解決に道筋をつける。
80JST004**	学際研究論ⅣB	1	学際的な論文作成の推進のために、受講者は集積した原典や一次資料、データの整理・分析を進め、その成果に基づく口頭発表及び質疑応答の練習を行い、博士論文執筆を具体的に促すとともに、多様な専門分野に属する教員の質疑に答えることで、学際的な視角を養いつつ多角的で独創的な議論を展開することを目指す。また博士論文執筆のために進めている研究を口頭で発表することによって、博士論文作成に向けての課題を整理し、博士学位研究の全体を構想するとともに、各自の研究成果の周辺領域や社会における学術的意義付けを理解し、披露する。

国際日本研究コース

講義コード	授　業　科　目	単位	授 業 科 目 の 内 容
80JST005**	学際研究論ＶＡ	1	学際的な論文作成の完成のために、受講者は、ここまでに集積してきた研究成果が国際日本研究領域にもたらす新たな価値を理解し、その向上に資するさらに先導的・先進的な研究を推進するとともに、本講までに国際日本研究領域の学術論文あるいは共同研究会・シンポジウム・学会などにおいてその成果を発表し、周辺学術領域の視角からの評価を得て、より多角的な理論や分析および解釈を目指しつつ、その成果に基づく口頭発表及び質疑応答の練習を行い、多様な専門分野に属する教員の質疑に答えることで、学際的な視角を養いながら、研究成果を的確につたえる技術を磨く。
80JST006**	学際研究論ＶＢ	1	学際的な論文作成の完成のために、受講者は博士学位論文の作成に集中的に取り組み、作成上必要なデータの整理や文献の調査を際限に推し進めるとともに、さらに学位論文を補強する研究データの獲得に取り組み、その成果に基づく口頭発表及び質疑応答の練習を行い、多様な専門分野に属する教員の質疑に答えることで、学際的な視角を養いながら、研究成果を的確につたえる技術を磨きあげ、最終的に国際的かつ学際的な討議能力を備える。